

特別支援教室あさがお紹介

■特別支援教室とは

通常の学級に在籍し、特別な指導を必要とする児童が、在籍学級における発達特性による学習上又は生活上の困難の改善・克服を図るため、授業時間の一部の時間、別の教室で指導を受けられる制度です。

コミュニケーションの力を育てたり、読む・書く・計算などの特定の分野の苦手さについて支援したりして、可能な限り多くの時間、在籍学級で他の児童とともに有意義な学校生活を送るようになることが目的です。

(東京都教育委員会 「東京都の発達障害教育」より)

児童は実態に合わせてながら、週1・2時間程度「個別学習」と「小集団学習」を行います。

【個別学習】

○教員と児童が1対1、または1対2程度で活動します。児童の発達段階や特性に合わせた指導を行います。

(例) 自分に合った学習の進め方を身に付ける

(例) 身体の動かし方や感覚機能を高める活動

【小集団学習】

○3～6人程度の小集団で活動します。一緒に活動する児童は異学年の場合もあれば、同学年の場合もあります。

(例) 友達との遊びや会話の場面を設定した表現の練習

(例) 気持ちや行動のコントロールの練習

～次のような心配がありましたらご相談ください～

- 会話が一方的になりがちで、円滑な人間関係が難しい。周囲の人が考えていることの推測が苦手。
- 意思表示や、言葉での表現が苦手。
- 知的な発達に問題はないが「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」などの中から、特定の分野が著しく苦手。
- 衝動性や多動性の状態があり、授業中に席を離れてしまったり、質問が終わらないうちに出し抜けて答えてしまったりする。
- 注意を集中し続けることが難しい。
- 人への関心があまりなく、同じことへのこだわりがある。

